

関係者各位



株式会社TSON 住宅市場データ室

問合せ先: 小間 幸一、小崎 敦史

Tel: 052-589-6055(本社)

0587-23-7461(稲沢営業所)

メール: kouichi-koma@tson.co.jpatsushi-kozaki@tson.co.jpホームページ: <http://www.jyuseikatsu.jp/>

住宅市場天気図 2018年8月号

株式会社TSON 住宅市場データ室では表記の資料を作成しましたのでご案内申し上げます。

■住宅市場天気とは

住宅市場天気図は、住宅市場の動向を総合的に見る上で必要な指標を毎月まとめたものです。マクロ景気、物価、エリアの住景気等の各種指標をまとめて表示するとともに、「赤:要注意、黄色:注意、緑:普通又は良」という具合に色分けで表示しておりますので、一目でチェックできます。エリアについても全国、関東圏、東海圏、近畿圏と広範に扱っております。ぜひ、ご活用ください。

■愛知県住景気(①~⑬) (文責:小間幸一)

●現状/6月着工戸数は全体として低調でした。但し、貸家が前年同月比、前月比共にプラスに転じました。但し、底打ちしたのかは、もう少し見極めが必要でしょう。

●先行き/月例経済報告でも穏やかな回復基調が続いているとのこと。景気ウォッチャー調査では「穏やかに回復している」とのコメントは継続中ですが、人手不足、コスト上昇、豪雨等の災害がリスクとして懸念されます。景気全体でも、住宅においても現状、先行き共に50を割り込んでいます。やや注意が必要なようです。一方で世界景気では恐怖指数(VIX)インデックスが20を割り込んでいます。現状は踊り場の状況といって良いでしょう。今後、どの方向へ景気が展開するのでしょうか?住宅業界も世界の景気・経済指標にますます目が離せなくなりそうです。

※本稿の内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承ください。

(文責:小間幸一)

住宅市場天気図 (NO.124 8月号 2018.8.31) ※出典は次ページ参照。株式会社TSON 住宅市場データ室 小間、小崎

■住宅市場天気図は次ページ記載のインターネットサイトに定期的に掲載されるデータをもとに株式会社TSON 住宅市場データ室で作成しました。色分けに関しては各指標の変化に応じ、「要注意」、「注意」、「普通又は良」に分けております。全体を見渡したときに「要注意」の赤が多ければ住宅市場が厳しいといえます。逆に緑が目立れば、「普通又は良」の状態ですので住宅市場は安心できる状態といえます。

①回復基調継続	● 月例経済報告 8月 内閣府 ● 倒産件数 帝国データバンク (前月比) ▲3.0%→▲2.8% 6月→7月 (前年同月比) ▲5.6%→▲1.3% ● 6月→7月	金融	貸出預金動向 日銀(総貸出平残前年比) 6月→7月 2.2%→+2.1%	国内銀行貸出約定平均金利 日銀(ストック&新規) 6月 0.921%(ストック) 0.768%(新規) 前月差 ▲0.002→▲0.006(ストック) 5月→6月 ▲0.063→+0.157(新規)	主要銀行貸出動向アンケート (日銀7月) 今後3ヶ月の資金需要見通 企業 3→2 個人 3→▲2	先行指標 景気動向指数 05年=100 5月→6月 内閣府 CI先行指数 106.9※→106.2 (前月差) +0.7%※→▲0.7%	愛知県景気動向指数 4月確報→5月速報 CI先行指数 119.8 →119.0	
③前月、前年同月比共に減	消費者物価指数 (生鮮食品除総合指数) (前月比 6→7月) +0.1%→+0.1% ●前年同月比6→7月 +0.8%→+0.8%	国内企業物価指数 日銀	国内企業物価指数 日銀 (前月比6月→7月) +0.2%→+0.5% (前年同月比 6月→7月) +2.8%→+3.1%	建築費指数 (住宅W)	建築費指数 (住宅W) (前月比 6月→7月) +0.1%→0.0% (前年同月比6月→7月) +1.2%→+1.1%	⑦マンション/契約率は前月差プラス、前年同月差マイナスで 良い・悪いの分岐点である70%を下回る 価格は前月差、前年同月差共にマイナス	⑧米国の住宅価格は上昇 S&Pケース・シラー住宅価格指標 前月比 2018年4月→2018年5月 1.0%→0.8%	②企業+2、個人▲2 ④ほぼ横ばい
④横ばい	完全失業率 総務省 5月→6月 2.2%→2.4% (前月比) ▲0.2ポイント	景気ウォッチャー調査 (6月→7月)	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、人手不足、コストの上昇等に対する懸念もある一方、引き続き受注、設備投資等への期待がみられる/6月 ⑨米国の住宅価格は上昇 ⑥前月差微減			景気 現状判断DI (前月差 ▲0.7) 景気先行判断DI (2~3ヶ月先) (前月差 ▲1.9)	住宅 51.4→49.7 (前月差 ▲1.7) 住宅 52.8→49.7 (前月差 ▲3.1)	⑩販売台数は前年同月比増加
⑤微増	住団連景況感調査 見通し H30年1-3月→4-6月 総合+19→+25 注文+25→+24 分譲戸建+6→+5 貸家▲4→+17	Home's掲載物件総数 6/22→7/30	Home's掲載物件総数 6/22→7/30 6,598,876件→6,609,975件 (+0.17%)	首都圏 6月→7月 契約率 ●不動産経済研究所	平均価格 マンション 66.0%→67.8% (前月差+1.8、前年同月差▲4.1%) 6244万円→6191万円 (前月差▲53万円、前年同月比▲5.7%) 建売住宅 54.6%→50.2% (前月差▲4.4、前年同月差+12.4) 5374.3万円→5889.0万円 (前月差+514.7万円、前年同月比+27.6%)	トヨタ自動車販売台数(自販連) (6月→7月) (前年同月比) 83.4%→103.6%	新聞広告量(電通) 不動産・住宅設備(5月→6月) (前年同月比) +4.0% →▲14.7%	
⑤貸家がプラスへ	景気ウォッチャー調査 6月→7月(前月差) 南関東 現状判断DI(各分野計) 49.2→48.8(▲0.4) 先行判断DI(各分野計) 51.8→50.2(▲1.6)	土地売買移転登記件数 5月→6月(前年同月比)	公示調査 変動率・住宅地 東京圏 29年 →30年 0.7% →1.0%	完全失業率 18年1月→3月→18年4月→6月	常用労働者の1人平均月間現金給与額のうち「決まって支給する給与」 18年4月→5月 330,372円→326,766円 (前月比: ▲1.09%) 17年5月→18年5月 325,267円→326,766円 (前年同月比: +0.46%)	推計人口(単位:人)、世帯数※ 7月→8月(前月差、前年同月差)	国土交通省 新設着工戸数 5月→6月(対前年同月比)	要注意▲▲ 注意▲ 普通または良
⑩現状、先行き共に50を下回る	● 東海 現状判断DI(各分野計) 48.2→48.5(+0.3) 先行判断DI(各分野計) 49.8→48.9(▲0.9)	東京 12,299→10,471 (+1.2%→▲7.5%) 埼玉 7,239→6,258 (+15.7%→▲5.6%) 神奈川 8,420→6,487 (+13.2%→▲11.0%)	東京都 2.7%→2.9% (前期差: +0.2) 愛知県 1.7%→1.6% (前期差: ▲0.1)	東京都 18年4月→5月 330,372円→326,766円 (前月比: ▲1.09%) 17年5月→18年5月 325,267円→326,766円 (前年同月比: +0.46%)	東京都 18年4月→5月 330,372円→326,766円 (前月比: ▲1.09%) 17年5月→18年5月 325,267円→326,766円 (前年同月比: +0.46%)	東京都 18年4月→5月 13,831,421→13,832,749 (前月差: +1,328、前年同月差: +102,891) 愛知県 18年4月→5月 7,535,992→7,537,236 (前月差: +1,244、前年同月差: +14,205)	首都圏 総数 26,574(▲4.2%)→27,399(▲15.1%) 持家 4,470(▲1.9%)→4,987(▲4.3%) 貸家 11,359(▲3.5%)→12,362(▲8.0%) 分譲戸建 5,089(▲3.6%)→5,084(▲1.8%) マンション 4,797(▲18.9%)→4,650(▲44.0%)	東京都 13,172(+19.9%)→12,522(▲22.7%) 1,356(+12.4%)→1,362(▲1.4%) 6,368(+17.1%)→6,561(+3.2%) 1,760(+16.9%)→1,646(+9.5%) 3,124(+15.2%)→2,913(▲57.8%)
⑮土地取引件数は前年同月比、前月比共に減	● 近畿 現状判断DI(各分野計) 48.7→47.7(▲1.0) 先行判断DI(各分野計) 52.5→49.6(▲2.9)	大阪 6,967→5,703 (+8.6%→▲4.9%) 兵庫 4,726→4,170 (+1.4%→+2.9%) 奈良 1,012→933 (+8.0%→▲6.1%)	大阪圏 29年 →30年 0.0% →-0.1%	大阪府 18年4月→5月 275,874円→271,478円 (前月比: ▲1.59%) 17年5月→18年5月 269,231円→271,478円 (前年同月比: +0.83%)	大阪府 18年4月→5月 275,874円→271,478円 (前月比: ▲1.59%) 17年5月→18年5月 269,231円→271,478円 (前年同月比: +0.83%)	大阪府 18年4月→5月 8,826,196→8,826,569 (前月差: +373、前年同月差: ▲5,892) 世帯数 4,030,140→4,032,338 (前月差: +2,198、前年同月差: +37,875)	近畿圏 総数 14,140(+27.2%)→11,737(▲2.2%) 持家 2,891(+1.4%)→3,124(+0.4%) 貸家 4,905(▲1.4%)→5,593(+10.7%) 分譲戸建 1,942(+4.6%)→1,866(▲2.6%) マンション 4,273(+199.9%)→1,104(▲39.5%)	大阪府 8,291(+61.8%)→6,251(+2.0%) 860(▲2.2%)→949(▲4.5%) 2,887(+6.1%)→3,381(+20.1%) 919(+8.8%)→897(▲4.9%) 3,623(+433.6%)→992(▲27.5%)

⑫前月比、前年同月比共にマイナス

⑬世帯数は前月差、前年同月差共に増。

⑭総数、持家、分譲戸建、分譲マンションが前年同月比マイナス

■愛知県住景気(①~⑮) (文責:小間幸一)
 ●現状/6月着工戸数は全体として低調でした。但し、貸家が前年同月比、前月比共にプラスに転じました。但し、底打ちしたのかは、もう少し見極めが必要でしょう。
 ●先行き/月例経済報告でも穏やかな回復基調が続いているとのことです。景気ウォッチャー調査では「穏やかに回復している」とのコメントは継続中ですが、人手不足、コスト上昇、豪雨等の災害がリスクとして懸念されます。景気全体でも、住宅においても現状、先行き共に50を割り込んでいます。やや注意が必要なようです。一方で世界景気では恐怖指数(VIX)インデックスが20を割り込んでいます。現状は踊り場の状況といっておくべきでしょう。今後、どの方向へ景気が展開するのでしょうか?住宅業界も世界の景気・経済指標にますます目が離せなくなりそうです。
※本稿の内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

■ 出典

- ・ マクロ
 - 内閣府 月例経済報告 <http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei.html> 内閣府 月例経済報告
 - 帝国データ 倒産件数 <http://www.tdb.co.jp/report/index.html> 帝国データバンク 倒産集計
- ・ 金融
 - 貸出残高 <http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/dl/zan/kashi/index.htm> 日本銀行 貸出・資金吸収動向等
 - 国内銀行貸出約定平均利率 http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/yaku/index.htm 日本銀行 貸出約定平均金利
 - 主要銀行貸出アンケート <http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/dl/zan/loos/index.htm> 日本銀行 主要銀行貸出動向アンケート調査
- 先行指数
 - 内閣府 景気動向指数 <http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html> 内閣府 景気動向指数結果
 - 愛知県景気動向指数 <http://www.pref.aichi.jp/0000033251.html> 愛知県 あいちの景気動向
- ・ 物価
 - 消費者物価指数 <http://www.stat.go.jp/data/cpi/1.htm> 総務省 消費者物価指数
 - 国内企業物価指数 <http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/pi/cgpi/index.htm> 日本銀行 企業物価指数
 - 建物物価建築費 http://www.kensetu-navi.com/bunseki/shisu_kentiku/index.html 財団法人建物物価調査会 建築費指数
- ・ 景気
 - 完全失業率 <http://www.stat.go.jp/data/roudou/> 総務省 労働力調査
 - 景気ウォッチャー調査 http://www5.cao.go.jp/keizai3/watcher_index.html 内閣府 景気ウォッチャー調査
 - 自動車販売台数 <http://www.jada.or.jp/contents/data/type/index01.php> 社団法人日本自動車販売協会連合会 新車販売台数
- ・ 住景気
 - 住団連景況感調査 <http://www.judanren.or.jp/activity/chosa/report01/201001/index.html> 社団法人住宅生産団体連合会 経営者の住宅景況感調査
 - Home's掲載物件総数 <http://www.homes.co.jp/> Home's
 - 首都圏マンション、分譲住宅契約率および平均価格 <http://www.fudousankeizai.co.jp/> 株式会社不動産経済研究所 首都圏マンション・建売市場動向
 - 新聞広告量 不動産・住宅設備 http://www.dentsu.co.jp/knowledge/ad_amount.html 電通総研 マスコミ4媒体広告量
- ・ エリア景気・エリア住景気
 - 景気ウォッチャー調査 http://www5.cao.go.jp/keizai3/watcher_index.html 内閣府 景気ウォッチャー調査
 - 土地売買移転登記件数 <http://www.moj.go.jp/TOUKEI/ichiran/touki.html> 法務省 登記統計統計表
 - 公示地価 <http://tochi.mlit.go.jp/chika/kouji/2017/> 平成29年地価公示
 - 完全失業率 東京都 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/roudou/rd-index.htm> 東京都 東京の労働力
 - 完全失業率 愛知県 <http://www2.aichi-rodo.go.jp/jyoho/docs/anteika01.html> 愛知労働局 最近の雇用情勢
 - 完全失業率 大阪府 <http://www.pref.osaka.jp/rosei/koyo-situgyo-iyose/index.html> 大阪府 大阪の雇用失業情勢
 - 常用労働者の一人平均月間給与総額 東京都 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/maikin/mk-index.htm> 東京都 毎月勤労統計調査地方調査結果
 - 常用労働者の一人平均月間給与総額 愛知県 <http://www.pref.aichi.jp/0000029914.html> 愛知県 愛知県の勤労
 - 常用労働者の一人平均月間給与総額 大阪府 <http://www.pref.osaka.jp/toukei/maikin/index.html> 大阪府 大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き
 - 推計人口、世帯数 東京都 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/jsuikai/js-index.htm> 東京都 東京都の人口(推計)
 - 推計人口、世帯数 愛知県 <http://www.pref.aichi.jp/0000029691.html> 愛知県 愛知県人口動向調査結果(月報)
 - 推計人口、世帯数 大阪府 <http://www.pref.osaka.jp/toukei/jinkou/index.html> 大阪府 大阪の毎月推計人口
 - 着工戸数 http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html 国土交通省 建築着工統計調査(月報)
- ・ 米国住宅景気
 - S&Pケース・シラー住宅価格指標 <http://www.standardandpoors.com/> STANDARD&POOR'S Case-Shiller Home Price Indices

※上記資料をもとに 株式会社TSON 住宅市場データ室にて作成

【お問い合わせ先】

株式会社TSON 住宅市場データ室

担当者:小間(こま)・小崎(こざき)

Tel:052-589-6055 Fax:052-589-6056



株式会社TSON

- 本データを含め、当社が提供する資料類は、情報の提供を唯一の目的としたものであり、不動産および金融商品を含む商品サービスまたは権利の販売その他の取引の申し込み、勧誘、あっ旋、媒介等を目的としたものではありません。
- 本データを含め、当社が提供する資料類は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成していますが、当社はその正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。
- 本データ、資料の全ての著作権は株式会社TSONに属しております。当社の事前の了承なく、その目的や方法の如何を問わず、本資料の全部または一部を複製・改変・翻訳等の利用を禁じます。
- 本データ、資料の全部または一部を引用・転載して利用する場合は、事前に株式会社TSONの許諾を必要とします。
- 本データ、資料、リリースの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承ください。